



農 研 第 5 0 5 号

令和8年7月27日

各 関 係 機 関 御 中

石川県農林総合研究センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察情報について

令和8年度病害虫発生予察注意報第3号を下記のとおり送付します。

連絡先 石川県農林総合研究センター
中央普及支援センター 病害虫防除室
電話 076-257-6972 (直通)
FAX 076-257-9140
E-mail kisk0301@pref.ishikawa.lg.jp

注意報第3号

斑点米カメムシ類の多発に注意

1 注意報の内容

病 害 虫 名 : 斑点米カメムシ類

(クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ等)

対 象 地 域 : 県内全域

水田侵入時期 : 7月中旬以降

発 生 量 : 多

2 注意報発表の根拠

- (1) 出穂した、水稻ほ場における斑点米カメムシ類の発生は、40回すくい取り調査による成虫数が16.1頭(平年値:13.8頭)で平年と同様に多い。
- (2) 種類別では、飛翔性カメムシが多く、アカヒゲホソミドリカスミカメの成虫数が1.2頭(平年値:0.9頭)、ホソハリカメムシの成虫数が1.9頭(平年値:1.3頭)と多く、大型のクモヘリカメムシの成虫数が10.4頭(平年値:7.6頭)と特に多い。
- (3) 向こう1か月の気象予報(令和8年7月16日付、新潟地方気象台発表)によると、向こう1か月の気温は高いと予想されており、水田への侵入や加害が多くなると推測される。

3 防除上の注意事項

- (1) 出穂7～10日後と14～17日後の2回の防除を徹底する。
- (2) 出穂後の草刈りは、本虫のほ場内への侵入を助長するので避ける。

**※ 農薬の使用に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。
また、周辺作物への飛散防止に留意する。**

(資料)

表 水稲ほ場における斑点米カメムシ類の発生（7月中旬、12地点調査）

斑点米カメムシ類	40回すくい取り成虫数（頭）	
	R8年	平年値
クモヘリカメムシ	10.4	7.6
ホソハリカメムシ	1.9	1.3
アカヒゲホソミドリカスミカメ	1.2	0.9
トゲシラホシカメムシ	0.6	0.2
その他カメムシ	2.0	3.8
合計	16.1	13.8

注）平年値は、過去10年（H28～R7年）の平均

その他カメムシは、アカスジカスミカメ等の計